

一般社団法人プロセスメタラジー研究会
2024 年度第 4 回理事会 議事録

(議事録作成者 岡部 進)

開催日時：2024 年 12 月 11 日 (水) 9 時 30 分～9 時 50 分

開催場所 (対面+ウェブ会議のハイブリッド)：

ミーティングスペース AP 西新宿 5 FL RoomA

(〒160-0023 東京都新宿区西新宿 7-2-4 新宿喜楓ビル)

出席 (対 面)：

山口勉功 (代表理事・会長、早稲田大学)

邑瀬邦明 (事業担当業務執行理事・副会長、京都大学)

中野博昭 (理事・第 1 分科会主査、九州大学)

中川原聡 (理事・第 1 分科会副主査、DOWA メタルマイン)

松枝敏晴 (理事・第 2 分科会副主査、古河機械金属)

岡部 進 (理事・新法人移行対応担当)

松浦宏行 (監事：東京大学)

井上 修 (監事：三菱マテリアル)

出席 (オンライン)：

安田 豊 (庶務担当業務執行理事・副会長 兼 第 3 分科会副主査、JX 金属)

福山博之 (理事・新事業担当、東北大学)

オブザーバー (対 面)：

竹林 優 (住友金属鉱山)

山野賢一 (DOWA エコシステム)

萱沼義弘 (松田産業)

薦田康夫 (三井金属鉱業)

柴田悦郎 (第 3 分科会幹事、東北大学)

オブザーバー (オンライン)：

竹内信登 (東邦亜鉛)

下川公博 (日比共同製錬)

欠 席：小俣孝久 (理事・第 2 分科会主査、東北大学)

柴山 敦 (理事・第 3 分科会主査、秋田大学)

小森 桂 (小名浜製錬株式会社小名浜製錬所)

議 事：

議事 1. 前回、2024 年度第 3 回理事会議事録の承認

議事 2. 産業界委員交代およびそれに伴う運営委員交代の承認

議事 3. 運営規則の改定

議事 1. 前回、2024 年度第 3 回理事会議事録の承認

山口会長より出席者に対して 11 月 7 日にメール配信済の議事録案に対する意見を問うたところ出席者からの意見表明はなく、全員一致で案通りの議事録を承認した。

議事 2. 産業界委員の交代およびそれに伴う運営委員交代の承認

岡部新法人移行対応担当理事より以下の委員交代が説明され、山口会長より出席者に対して意見を問うたところ出席者からの意見表明はなく、異議なく全員一致で全ての交代を承認した。

代表委員および運営委員の交代（10 月 1 日付）

小名浜製錬株式会社小名浜製錬所

（前）副所長 加藤 智晴 （かとう ともはる）

（新）副所長 小森 桂 （こもり かつら）

三井金属鉱業株式会社

（前）事業創造本部 総合研究所／フェロー 八島 勇 （やしま いさむ）

（新）事業創造本部 総合研究所／フェロー 薦田 康夫（こもだ やすお）

委員の交代（10 月 1 日付）

三菱マテリアル株式会社

（前）イノベーションセンター分離精製領域（小名浜支所）主任研究員

仲家 新太郎（なかや しんたろう）

（新）金属事業カンパニー製錬事業部製錬部 部長補佐

加藤 智晴 （かとう ともはる）

議事 3. 運営規則の改定

前回の運営委員会における提案に沿って、「（発表内容の新規性）第 39 条」を削除するとともに、「（発明の新規性喪失の例外規定）第 40 条」の「特許法第 30 条に定める発明の新規性喪失の例外規定の適用申請は行わない」は変更せず、「前条（削除する第 39 条）に鑑み」に代わる「非公開」の原則を根拠とする表現に置き換える運営規則の改定案が岡部新法人移行対応担当理事より説明された。山口会長より出席者に対して意見を問うたところ出席者からの意見表明はなく、異議なく全員一致で案通りの改定を承認した。

第 6 章研究会

(目的)

第 3 4 条 委員または国内外の関係の研究者または技術者相互間の発表および討論の場として研究会を、また交流の場として交流会を開催する。

(参加資格)

第 3 5 条 研究会および交流会は、本音ベースの情報交換、情報共有を担保するため、産業界委員、個人会員、名誉会員、発表者、およびこれらが事前に申告した代理者または同伴者のみが参加できるものとする。

2 研究会の参加費は原則無料、交流会の参加費は原則有料とする。

(守秘義務)

第 3 6 条 研究会における発表または討論の内容は、原則として当該研究会の参加者および当該研究会に参加しなかった産業界委員、個人会員、名誉会員の間でのみ共有し、対外的には公開しない。

2 但し、発表者自身が、第三者に対して発表内容の引用、転載、公開を許諾することは妨げない。その場合、発表の書誌情報は一般に対して非公開であるので、引用、転載情報に用いることはできない。

3 前条に定める代理者または同伴者を申告する産業界委員、個人会員、名誉会員、発表者は、代理者または同伴者に本会および研究会の趣旨、守秘義務等を周知、徹底し、代理者または同伴者の同意を確認する義務を負う。

(研究会の開催)

第 3 7 条 研究会の企画、立案、実施は各分科会または各臨時委員会が、事業担当業務執行理事副会長と協力し、原則として各年度内に 1 回以上開催する。

(研究会の資料)

第 3 8 条 研究会の配布資料ファイルおよびプレゼンテーションファイルは発表者の同意を得て、当該研究会の参加者および当該研究会に参加しない産業界委員、個人会員、名誉会員のみに閲覧およびダウンロードを限定したウェブページ上で公開する。当該研究会から一定期間経過後は、閲覧およびダウンロードを産業界委員、個人会員、名誉会員のみに限定したアーカイブページに移動し、無期限に公開する。

~~-(発表内容の新規性)-~~

第 3 9 条 ~~研究会の発表内容に新規性は求めない。削除~~

(発明の新規性喪失の例外規定)

第 4 0 条 ~~前条に鑑み、~~本研究会における発表は第 35 条、第 36 条および第 38 条に定めるとおり限定的な対象への公開であり発明の新規性を喪失させる公開には当たらないことから、特許法第 30 条に定める発明の新規性喪失の例外規定の適用申請は行わない。

(著作権)

第 4 1 条 研究会における発表の著作権は、発表者に帰属する。但し、本会は運営規則

第

38条に規定する配布資料ファイルおよびプレゼンテーションファイルのウェブ上での公開、および産業界委員、個人会員、名誉会員のみに限定したあらゆる形態での再利用に

関する権利を保有する。

2 研究会における発表による発表者以外が保有する著作権に対する侵害については、発表者自身が責任を負う。

前回の運営委員会における指摘に沿って、本会の非公開性、守秘義務の遵守および法人会員所属者に対する旅費負担の公平性を損なう懸念を払拭すべく、個人会員の要件を定める運営規則第3条第2号の「一般企業等に現職として所属または過去に所属し」を「旧69委員会または本会の法人会員企業に過去に所属し」に制限し、同様の理由で入会申請における「紹介者または推薦者」を必須とする改定案を以下に示す。

(個人会員)

第3条 本会の趣旨、目的に賛同し入会を希望する、各号に該当する個人は、**本会に在籍する会員の紹介または推薦を得た上で**、ウェブサイトにて設ける入会申請ページから入会を申請し、理事会の承認を得て個人会員となる。入会后速やかに会費を納入する。

(1)大学院、大学、高等専門学校、公的研究機関等に現職として所属または過去に所属し、関連分野の研究、開発、教育に従事するまたは従事経験のある個人

(2)前号に該当しない**一般企業等旧69委員会または本会の法人会員企業に現職として所属または過去に所属し、関連分野の業務に従事するまたは従事経験のある個人、但し運営規則第7条に定める産業界委員に選任されている個人を除く**

2 入会申請から理事会の開催まで日数を要する場合、その間に開催される運営委員会の承認をもって、理事会の承認に代える。但し、後日開催される理事会に当該の承認内容を報告する。

議事 4. その他

安田副会長（庶務担当）より、岡部新法人移行対応担当理事が事務のほぼ全般を担っている現状から脱し、自律的で持続可能な事務体制を早急に構築することが必要であるとの緊急提言がなされた。

これに対して、事務の全体像を棚卸しし、総合研究奨励会に事務を委託している他の会の実情を聴取したうえで、総合研究奨励会に対して実際に委託可能な事務範囲を再定義し、そこから「はみ出る」事務内容、必要工数、必要経費を明確化することがまず必要であり、上記の「はみ出る」事務の受け皿については、①特定の大学研究室への委託可能性、②特定の法人会員企業への委託可能性、③資源・素材学会の素材部門委員会が事

務を委託している個人への委託可能性、④同様の委託先（個人）開拓の可能性、⑤他の会が事務委託している委託先（企業・組織）開拓の可能性、⑥資源・素材学会事務局への協力再依頼の可能性、併せて⑦どうしても必要な場合の会費の増額、等について検討することが提案された。

岡部新法人移行対応担当理事からは、現在担っている諸事務の定式化、システム化による非属人化と必要工数削減に取り組んでいて、2025 年度中には目途をつけたい旨発言があった。

以上の意見を受け、山口会長より 2 月 13 日に予定されている次回理事会・運営委員会合同会議に向けて、検討体制、検討内容に対する意見を寄せて頂きたいとの要請がなされ、本件は継続審議とすることとなった。

以上をもって、全ての議事を終了し、本理事会は閉会した。

定款の定めるところにより、議長である代表理事山口勉功および出席した監事松浦宏行、監事井上修は以上の決議を明確にするため、この議事録に記名押印する

2025（令和 7）年 2 月 13 日

代表理事 山口勉功 印

監 事 松浦宏行 印

監 事 井上 修 印

一般社団法人プロセスメタラジー研究会
2024 年度第 2 回運営委員会合同会議 議事録

(議事録作成者 岡部 進)

開催日時：2024 年 12 月 11 日（水）9 時 50 分～10 時 30 分

開催場所（対面＋ウェブ会議のハイブリッド）：

ミーティングスペース AP 西新宿 5 FL RoomA

（〒160-0023 東京都新宿区西新宿 7-2-4 新宿喜楓ビル）

出席（対面）：

山口勉功（代表理事・会長、早稲田大学）

邑瀬邦明（事業担当業務執行理事・副会長、京都大学）

中野博昭（理事・第 1 分科会主査、九州大学）

中川原聡（理事・第 1 分科会副主査、DOWA メタルマイン）

松枝敏晴（理事・第 2 分科会副主査、古河機械金属）

岡部 進（理事・新法人移行対応担当）

松浦宏行（監事：東京大学）

井上 修（監事：三菱マテリアル）

竹林 優（住友金属鉱山）

山野賢一（DOWA エコシステム）

萱沼義弘（松田産業）

薦田康夫（三井金属鉱業）

柴田悦郎（第 3 分科会幹事、東北大学 ＜柴山敦主査 代理＞）

出席（オンライン）：

安田 豊（庶務担当業務執行理事・副会長 兼 第 3 分科会副主査、JX 金属）

福山博之（理事・新事業担当、東北大学）

竹内信登（東邦亜鉛）

下川公博（日比共同製錬）

欠席：小俣孝久（理事・第 2 分科会主査、東北大学）

柴山 敦（理事・第 3 分科会主査、秋田大学）

小森 桂（小名浜製錬株式会社小名浜製錬所）

議事：議事 4. 前回、2024 年度第 1 回運営委員会議事録の承認

議事 5. 分科会幹事の選任

議事 6. 第 1 分科会活動状況について

議事 7. 第 2 分科会活動状況について

議事 8. 第 3 分科会活動状況について

議事 9. 新事業の検討状況について

議事 10. 新法人移行対応について

議事 11. 新入会会員の募集、申請・承認手続きについて

議事 4. 前回、2024 年度第 1 回運営委員会議事録の承認

山口会長より出席者に対して 11 月 7 日にメール配信済の議事録案に対する意見を問うたところ出席者からの意見表明はなく、全員一致で案通りの議事録を承認した。

議事 5. 分科会幹事の選任

岡部新法人移行対応担当理事より、前回 8 月 27 日の運営委員会で決定した分科会幹事の暫定案に対する各幹事候補の就任諾非、あるいは法人会員各社の社内調整結果の報告を反映し、修正した次表の分科会幹事構成が説明された。山口会長より出席者に対して意見を問うたところ出席者からの意見表明はなく、異議なく全員一致で次表のとおり分科会幹事の選任を承認した。

第1分科会					
主査	個人会員	中野 博昭	なかの ひろあき	九州大学	教授
副主査	産業界委員	中川原 聡	なかがわら さとし	DOWAメタルマイン株式会社 製錬技術センター	センター長
幹事	個人会員	宇田 哲也	うだ てつや	京都大学材料工学専攻	教授
幹事	個人会員	柴田 悦郎	しばた えつろう	東北大学多元物質科学研究所	教授
幹事	個人会員	山口 勉功	やまぐち かつのり	早稲田大学理工学術院	教授
幹事	個人会員	高崎 康志	たかさき やすし	秋田大学大学院国際資源学研究科	准教授
幹事	産業界委員	千田 裕史	ちだ ひろし	JX金属株式会社 金属・リサイクル事業部	副事業部長
幹事	産業界委員	竹林 優	たけばやし まさる	住友金属鉱山株式会社 金属事業本部	本部長
幹事	産業界委員	竹内 信登	たけうち のぶと	東邦亜鉛株式会社 金属・リサイクル事業本部 製錬技術部	部長
幹事	産業界委員	下川 公博	しもかわ きみひろ	日比共同製錬株式会社 玉野製錬所	所長
幹事	産業界委員	松崎 健嗣	まつざき けんじ	三井金属鉱業株式会社 金属事業本部企画部金属開発センター	センター長
幹事	産業界委員	田中 史人	たなか ふみと	三菱マテリアル株式会社 金属事業カンパニー開発部	部長
第2分科会					
主査	個人会員	小俣 孝久	おまた たかひさ	東北大学	教授
副主査	産業界委員	松枝 敏晴	まつえだ としはる	古河機械金属株式会社 技術統括本部	主席技師長
幹事	個人会員	野瀬 嘉太郎	のせ よしたろう	京都大学工学研究科	准教授
幹事	個人会員	棚橋 満	たなはし みつる	富山県立大学	教授
幹事	産業界委員	吉田 拓	よしだ たく	JX金属株式会社 技術本部技術戦略部	主任技師
幹事	産業界委員	佐々木 斉	ささき あきら	古河機械金属株式会社 技術統括本部	新材料開発部長
幹事	産業界委員	薦田 康夫	こもだ やすお	三井金属鉱業株式会社 事業創造本部 総合研究所	フェロー
幹事	産業界委員	加藤 智晴	かとう ともはる	三菱マテリアル株式会社 金属事業カンパニー製錬事業部製錬部	部長補佐
第3分科会					
主査	個人会員	柴山 敦	しばやま あつし	秋田大学	教授
副主査	産業界委員	安田 豊	やすだ ゆたか	JX金属株式会社	常務執行役員 金属・リサイクル事業部長
幹事	個人会員	柴田 悦郎	しばた えつろう	東北大学多元物質科学研究所	教授
幹事	個人会員	所 千晴	ところ ちはる	早稲田大学 理工学術院／東京大学 大学院工学系研究科	教授／教授
幹事	個人会員	沖部 奈緒子	おきべ なおこ	九州大学大学院工学研究院 地球資源システム工学部門	教授
幹事	個人会員	成田 弘一	なりた ひろかず	産業技術総合研究所	研究チーム長
幹事	産業界委員	北崎 徹	きたざき とおる	住友金属鉱山株式会社 金属事業本部事業室	室長
幹事	産業界委員	山野 賢一	やまの けんいち	DOWAエコシステム株式会社 環境ソリューション室	次長
幹事	産業界委員	萱沼 義弘	かやぬま よしひろ	松田産業株式会社 技術開発部	部長
幹事	産業界委員	中原 祐之輔	なかはら ゆうのすけ	三井金属鉱業株式会社 事業創造本部 総合研究所	所長
幹事	産業界委員	井上 修	いのうえ おさむ	三菱マテリアル株式会社 金属事業カンパニー製錬事業部製錬部	部長

議事 6. 第 1 分科会活動状況について

中野博昭第 1 分科会主査より、本日の研究会について以下のとおり報告があり、異議なく了承した。

本日の参加登録状況

研究会 (対面出席) 31 名 (オンライン出席) 40 名、交流会 25 名

本日開催の研究会につき、ウェブサイト https://cpmj.org/sem001_20241211/ にて以下公開中。

第 1 回研究会 2024.12.11 (AP 西新宿)『第 1 分科会 (非鉄製錬関連技術)：銅製錬リサイクル原料増による課題とその解決に向けて』

【開催日時】 2024 年 12 月 11 日 (水) 10:50~16:45

(運営委員会) 9:30~10:30

(研究交流会) 17:15~19:15

【会 場】 ミーティングスペース AP 西新宿

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 7-2-4 新宿喜楓ビル

<https://www.tc-forum.co.jp/ap-nishishinjuku/access/>

【開催方式】 対面およびオンラインのハイブリッド

【主 催】 第 1 分科会 <主 査>中野 博昭 <副主査>中川原 聡 <幹 事>宇田 哲也、柴田 悦郎、山口 勉功、高崎 康志、千田 裕史、竹林 優、竹内 信登、下川 公博、松崎 健嗣、田中 史人

【参加登録】 本研究会および研究交流会への参加は本会の個人会員、法人会員に所属する産業界委員、講師およびこれらの同伴者に限りませんが、いずれも<事前参加登録ページ>から事前参加登録が必要です。登録締切 12 月 4 日 (水)。

【参加費】 研究会参加費は無料、研究交流会参加費は 5,000 円です。

【講演資料】 講演資料は 12 月 4 日 (水) から 2025 年 1 月 7 日 (火) までの間、参加登録者、個人会員、産業界委員限定のダウンロードページから入手できます。冊子体での配布は行いません。

【開催趣旨】

国内の銅製錬所のみならず、海外の一次製錬所においてもリサイクル原料が増加しており、リサイクル原料処理の重要性は今後も増していくと予想される。リサイクル原料には、溶錬工程における銅とスラグの分離を阻害する、あるいは電解工程に悪影響を及ぼす製錬忌避元素が多く含まれているため、その処理量には制限がある。そこで、多様な忌避

元素を含むリサイクル原料増による課題を明らかにし、その解決を目指す。

【プログラム】

<5 階 Room A>

09:30-10:30 運営委員会

10:30-10:50 休憩 (&調整)

<6 階 Room L+M>

10:50-11:00 開会挨拶 山口 勉功 (会長、早稲田大学)

趣旨説明 中野 博昭 (第1分科会主査、九州大学)

11:00-11:35 講演 (1) 「リサイクル原料比率アップによる課題とその解決に向けて」
笹岡 英俊 (J X金属株式会社)

11:35-12:10 講演 (2) 「リサイクル原料が変える製錬工程」
田中 史人 (三菱マテリアル株式会社)

12:10-13:00 昼食休憩

13:00-13:35 講演 (3) 「銅製錬工程における二次原料増処理のための課題」
工藤 万雄 (住友金属鉱山株式会社)

13:35-14:10 講演 (4) 「TSL 炉を用いたリサイクル原料処理における諸改善」
村上 彰一 (小坂製錬株式会社)

14:10-14:45 講演 (5) 「銀およびアンチモンを高濃度に含む銅合金の凝固組織形成および
電解時の不動態化に関する基礎研究」
佐々木 秀顕 (愛媛大学)

14:45-15:00 休憩

15:00-15:35 講演 (6) 「ヒ素固定化のためのスコロダイト合成プロセスの解析」
安達 謙 (東北大学)

15:35-16:10 講演 (7) 「固相が分散した溶融スラグのレオロジーとセンシング」
齊藤 敬高 (九州大学)

16:10-16:45 講演 (8) 「製錬忌避元素の FeOx-SiO2 系スラグの液相線と有価金属のスラ
グロスに及ぼす影響」
山口 勉功 (早稲田大学)

16:45-17:15 休憩 (&調整)

<5 階 Room A>

17:15-19:15 研究交流会

議事 7. 第 2 分科会活動状況について

欠席の小俣孝久第 2 分科会主査に代わって、松枝敏晴副主査より以下のとおり報告があり、異議なく了承した。なお、開催日程については年度内 3 月中に拘らず、4 月中を含めて調整することを了承した。

第 2 分科会報告

2024.12.11 文責：小俣

(1) 分科会幹事の確定

主査 小俣孝久（東北大学）
副主査 松枝敏晴（古河機械金属㈱）
幹事（学界） 野瀬嘉太郎（京都大学）；棚橋満（富山県立大学）
幹事（産業界） 吉田拓（JX 金属㈱）；佐々木斉（古河機械金属㈱）；
薦田康夫（三井金属鉱業㈱）；加藤智晴（三菱マテリアル㈱）

(2) 研究会準備について

- 分科会委員の確定後、企業側が望む研究テーマの調査を企業側幹事に調査してもらった。調査期間は 11 月 8 日～11 月 22 日とした。
- 要望の上がったテーマは以下のとおりである。
材料関連:半導体材料、ハイエントロピー合金、3D 造形用材料、非鉄金属分野で成長が期待される素材
プロセス関連:3D 造形、マイクロリアクターなどフロー合成、湿式合成で利用される添加剤の効果・メカニズム
- 次回の研究会テーマは、複数企業から要望があった『三次元造形プロセス、材料、応用の最新動向（仮）』とした。
- 講演は以下で構成し、全 5 件としたい（研究会は午後のみ。13:00～17:30 頃）。

・ 総論・最近の動向全体	1 件
・ 材料に関するトピック	1～2 件
・ プロセスに関するトピック	1～2 件
・ 応用展開に関するトピックもしくは総論	0～1 件
・ 装置メーカーが期待する材料など	0～1 件
- 年内に講師を絞り、講演の依頼を発送する予定。

(3) 開催日程

- 研究会の開催時間帯は 13:00～17:30 頃とする。
- 今からの講師の選定と依頼を始めるので、2 月開催は厳しい。

- 3月21日までに学会は一段落するので、3月24日（月）～3月31日（月）、もしくは、4月14日（月）～4月24日（金）での開催ではどうか？
- 日程に合う講師に講演を依頼するので、開催日程を決めてほしい。

議事 8. 第3分科会活動状況について

欠席の柴山敦第3分科会主査に代わって、柴田悦郎幹事より以下のとおり報告があり、異議なく了承した。

プログラム確定次第、https://cpmj.org/sem002_20250313/にて公開予定

（案）

第2回研究会 2025.2.13（AP 西新宿）『第3分科会（資源・環境関連技術）：主な金属に注目したリサイクルと資源循環に向けた最近の取組（仮）』

【開催日時】 2025年2月13日（木）13：00～17：05

（運営委員会）10：30～12：00

（研究交流会）17：20～19：20

【会 場】 ミーティングスペース AP 西新宿

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 7-2-4 新宿喜楓ビル

<https://www.tc-forum.co.jp/ap-nishishinjuku/access/>

【開催方式】 対面およびオンラインのハイブリッド

【主 催】 第3分科会 <主 査>柴山 敦 <副主査>安田 豊 <幹 事>柴田 悦郎、所 千晴、沖部 奈緒子、成田 弘一、北崎 徹、山野 賢一、萱沼 義弘、中原 祐之輔、井上 修

【参加登録】 本研究会および研究交流会への参加は本会の個人会員、法人会員に所属する産業界委員、講師およびこれらの同伴者に限りますが、いずれも<事前参加登録ページ>から事前参加登録が必要です。登録締切 2025年2月6日（木）。

【参加費】 研究会参加費は無料、研究交流会参加費は5,000円です。

【講演資料】 講演資料は2025年2月6日（木）から3月12日（水）までの間、参加登録者、個人会員、産業界委員限定のダウンロードページから入手できます。冊子体での配布は行いません。

【開催趣旨】

【プログラム】

<5 階 Room B>

10:30-12:00 運営委員会

12:00-13:00 昼食休憩

<5 階 Room C>

13:00-13:10 開会挨拶 山口 勉功（会長、早稲田大学）

趣旨説明 柴山 敦（第3分科会主査、秋田大学）

13:10-13:45 講演（1）「鉄に関する資源循環と CO2 排出量削減に対する電炉の役割と今後」

上手研二 又は 石川了三（トピー工業）

<講演内諾済み、講師講師調整中>

13:45-14:20 講演（2）「最近の NPGM の操業について」

工藤 理人（日本ピージーエム）

14:20-14:55 講演（3）「タングステンを含むスクラップのリサイクル事業について」

久永昌広（日本新金属）

14:55-15:15 休憩

15:15-15:50 講演（4）「松田産業の資源循環に向けた取り組み」

萱沼義弘（松田産業）

15:50-16:25 講演（5）「R E E のリサイクル・資源循環に関する講演を予定」

調整中（信越化学工業）※新金属協会・石垣専務理事も同席の予

定で調整

16:25-17:00 講演（6）「金属の資源循環を測る：世界はどれだけ循環型なのか？」<オンライン発表>

渡 卓磨（国立環境研究所）

17:00-17:05 閉会挨拶 安田 豊（副会長、JX 金属）

17:05-17:20 休憩（&調整）

<5 階 Room B>

17:20-19:20 研究交流会

議事 9. 新事業の検討状況について

邑瀬邦明副会長（事業担当）より、3 回の研究会が軌道に乗り、事務局体制の見直しも具体化して、資金的な枠組みも確定することを待って検討に着手したい旨説明があり、異議なく了承した。

議事 10. 新法人移行対応について

岡部進新法人移行対応担当理事より以下の説明があり、異議なく了承した。

- ・事務局事務を業務委託している総合研究奨励会との業務委託契約については、依然としてペンディング状態。
- ・2024 年度会費未納の会員に対して、年内に再請求を行う予定。
- ・ウェブサイト上に、研究会の開催案内、参加登録、資料ダウンロードのページを開設し、運用を開始した。
- ・ウェブサイト上の会員名簿、運営規則等のアップデートを行った。
- ・Zoom の法人アカウントを開設し、運用を開始した。

議事 11. 新入会会員の募集、申請・承認手続きについて

岡部進新法人移行対応担当理事より以下の説明があり、異議なく了承した。

これまでに、新入会会員の推薦について何件かのお問い合わせをいただいている他、かつて旧 69 委員会において定年退会を余儀なくされた方より入会の問合せを頂戴しています。これらの皆さんに下記の入会申請手続きをお知らせするとともに、全会員に対して新入会会員の勧誘・推薦を依頼したい。なお、旧 69 委員会で設けていた定年制度が廃止されたことに伴い、現職ではない「学」の個人、あるいは従来の「学」に該当しない旧 69 委員会または本会の法人会員企業の従事経験者も個人会員の対象としていることにご留意ください。新入会会員の申請・承認手続きは以下となります。

1. 入会希望者は、ウェブサイトから下記の申請フォーム（Word）をダウンロードし、必要事項記入して提出。
2. 事務局は受領した申請フォームを理事会メンバーに回送し、賛否を集計。理事会メンバーの過半数の賛成により承認とし、申請者に結果を通知する。承認の場合、承認通知とともに会費請求書を送付する。

一般社団法人プロセスメタラジー研究会
個人会員 入会申請書

入会申請書受理後、理事会または運営委員会において審査を行い、入会承認後にご連絡を差し上げます。併せて会費請求書をお送りしますので、速やかに会費をお納めください。

各種連絡は原則としてご登録頂いたメールアドレス宛に電子メールにてお送りいたします。また、ウェブサイトの会員限定ページへのアクセス ID にはご登録頂いたメールアドレスを、初期パスワードにはご登録頂いた生年月日 YYYYMMDD の 8 桁の数字を設定いたします。

提供された個人情報は、一般社団法人プロセスメタラジー研究会が責任をもって管理し、本会の運営並びに会員相互の連絡に必要な場合にのみ、必要な会員に限り開示することがあります。ご本人の個人情報に関する開示・訂正・削除の請求は、一般社団法人プロセスメタラジー研究会事務局 secretariat@cpmj.org までご連絡下さい。

申請年月日（西暦/月/日）	YYYY/MM/DD
氏名	
氏名ふりがな	
e-mail	
生年月日（西暦/月/日）	YYYY/MM/DD
所属・役職	
所属先所在地	〒
所属先 Tel	
自宅住所	〒
自宅 Tel	
専門分野・領域	
紹介者または推薦者（必須）	

一般社団法人プロセスメタラジー研究会
法人会員 入会申請書

入会申請書受理後、理事会または運営委員会において審査を行い、入会承認後にご連絡を差し上げます。併せて会費請求書をお送りしますので、速やかに会費をお納めください。

申請年月日（西暦/月/日）	YYYY/MM/DD
法人（団体）名称	
法人（団体）所在地	〒
年会費口数（200,000 円/口）	口
当研究会に係る事業内容	
紹介者または推薦者（必須）	

研究会、交流会等事業への参加及び研究会資料等ウェブサイト上の会員限定資料にアクセスする権利を有するとともに、本会の運営及び事業の企画、立案、実施に携わる理事及び分科会または臨時委員会の幹事の選出母体を構成する委員を、少なくとも 1 名、最大年会費の口数に等しい人数（代表委員を含む）まで指名してください。

代表委員は会員である法人または団体を代表して、社員総会開催通知、会費請求書等、研究会の運営上重要なお知らせを受け取っていただきます。

なお、各種連絡は原則としてご登録頂いたメールアドレス宛に電子メールにてお送りいたします。また、ウェブサイトの会員限定ページへのアクセス ID にはご登録頂いたメールアドレスを、初期パスワードにはご登録頂いた生年月日 YYYYMMDD の 8 桁の数字を設定いたします。

提供された個人情報は、一般社団法人プロセスメタラジー研究会が責任をもって管理し、本会の運営並びに会員相互の連絡に必要な場合にのみ、必要な会員に限り開示することがあります。ご本人の個人情報に関する開示・訂正・削除の請求は、一般社団法人プロセスメタラジー研究会事務局 secretariat@cpmj.org までご連絡下さい。

代表委員	氏名	
	氏名ふりがな	
	e-mail	
	生年月日（西暦/月/日）	YYYY/MM/DD
	所属・役職	
	所属先所在地（法人（団体） 所在地と異なる場合）	〒
	Tel	

委員	氏名	
	氏名ふりがな	
	e-mail	
	生年月日（西暦/月/日）	YYYY/MM/DD
	所属・役職	
	所属先所在地（法人（団体） 所在地と異なる場合）	〒
	Tel	
	委員	氏名
氏名ふりがな		
e-mail		
生年月日（西暦/月/日）		YYYY/MM/DD
所属・役職		
所属先所在地（法人（団体） 所在地と異なる場合）		〒
Tel		
委員		氏名
	氏名ふりがな	
	e-mail	
	生年月日（西暦/月/日）	YYYY/MM/DD
	所属・役職	
	所属先所在地（法人（団体） 所在地と異なる場合）	〒
	Tel	
	委員	氏名
氏名ふりがな		
e-mail		
生年月日（西暦/月/日）		YYYY/MM/DD
所属・役職		
所属先所在地（法人（団体） 所在地と異なる場合）		〒
Tel		

以上をもって、全ての予定議事を終了し、本運営委員会は閉会した。

運営規則の定めるところにより、議長である代表理事山口勉功は以上の決議を明確にするため、この議事録に記名押印する

2025（令和 7）年 2 月 13 日

代表理事 山口勉功 印